

## 1. 略歴

- 1994年3月 京都大学文学部史学科（西南アジア史学専攻）卒業  
1994年4月 京都大学大学院文学研究科東洋史学（西南アジア史学）専攻修士課程入学  
1996年3月 京都大学大学院文学研究科東洋史学（西南アジア史学）専攻修士課程修了  
1996年4月 京都大学大学院文学研究科歴史文化学専攻（西南アジア史学専修）博士後期課程進学  
1997年11月 テヘラン大学文学部史学科博士課程留学  
2002年3月 京都大学大学院文学研究科博士後期課程研究指導認定退学  
2002年4月 京都大学研修員  
2002年8月 バンバルク大学人文学部イラン学科留学  
2003年4月 日本学術振興会特別研究員 PD  
2005年11月 博士（文学）学位取得（京都大学）  
2006年4月 北海道大学大学院文学研究科歴史地域文化学専修・東洋史学講座 助教授  
2007年4月 北海道大学大学院文学研究科 准教授  
2016年4月 東京大学大学院人文社会系研究科 准教授

## 2. 主な研究活動

### a 主要業績

#### (1) 著書

- 『シーア派聖地参詣の研究』（東洋史研究叢刊71），京都大学学術出版会，2007年2月  
（編著）『移動と交流の近世アジア史』，北海道大学出版会，2016年2月

#### (2) 学術論文

- 「サファヴィー朝支配下の聖地マシュハド—十六世紀イランにおけるシーア派都市の変容—」『史林』80巻2号，1997年3月，1～41頁  
「ガージャール朝期旅行記史料研究序説」『西南アジア研究』55号，2001年9月，44～68頁  
「聖地アタバート参詣考」『東方学報（京都）』79冊，2006年9月，110～178頁  
「国境にみる「近代化」と聖地参詣者」『東洋史研究』（特集：宗教と権力）65巻3号，2006年12月，39～71頁  
「近代西アジアにおける国境の成立—イラン＝オスマン国境を中心に—」『史林』（特集：国境）90巻1号，2007年1月，62～91頁  
「ロマンスからヒストリアへ—ビーツトゥーン碑文とイランにおける歴史認識—」『上智アジア学』（特集：イラン世界とその周辺地域—その形成と展開—）25号，2007年12月，1～48頁  
「バイエルン州立図書館所蔵Cod.pers.431写本をめぐる—書写奥書署名Ismā‘īl b. Ḥaydar al-Ḥusaynīとは誰か？—」『東方学』第117輯，2009年1月，176～157頁  
「伝説から史実へ—イラン・イスラーム社会における古代遺跡と歴史認識—」『歴史学研究』増刊号859，2009年10月，169～177頁  
「「イラン史」の誕生」『歴史学研究』（小特集：近代史学史再考—アジアの事例から—）863，2010年2月，12～21頁  
「ペルシア・イラン世界における翻訳文化—インド・ギリシア，アラブ，そして西洋諸語から—」近藤信彰編『ペルシア語文化圏史研究の最前線』東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所，2011年6月，151～170頁  
“Pilgrimage to the Iraqi ‘Atabat from Qajar Era Iran”，Pedram Khosronejad (ed.) *Saints and their Pilgrims in Iran and Neighbouring Countries* (Wantage: Sean Kingston Publishing, 2012), pp. 41-60  
「サファヴィー朝の対シャム使節とインド洋—『スレイマーンの船』の世界—」『史朋』46号，2013年12月，1～34頁  
「地中海を旅した二人の改宗者—イラン人カトリック信徒とアルメニア人シーア派ムスリム—」長谷部史彦編『地中海世界の旅人—移動と記述の中近世史』慶應義塾大学言語文化研究所，2014年3月，257～284頁  
“Pilgrims beyond the Border: Immigration at Khanaqin and Its Procedures in the Nineteenth Century”, *Memoirs of the Research Department of the Toyo Bunko*, Vol. 72, March 2015, pp. 99-124

「天上・地上の驚異を編纂する—ペルシア語百科全書成立の十二世紀—」山中由里子編『〈驚異〉の文化史—中東とヨーロッパを中心に』名古屋大学出版会, 2015年11月, 76~94頁

「帝国へのまなざし—イラン国王, 岩倉使節団, シヤム国王とロシア・イギリス」宇山智彦編『ユーラシア近代帝国と現代世界』ミネルヴァ書房, 2016年2月, 69~96頁

「インド洋海域世界のイラン人—シヤムにわたった人びとを中心に—」守川知子編『移動と交流の近世アジア史』北海道大学出版会, 2016年3月, 3~31頁

(3) 事典・原典翻訳・口頭発表等

【事典・研究時評・ワーキングペーパー等】

「2003年の歴史学界—回顧と展望：西アジア・北アフリカ（イスラム時代）—」『史学雑誌』113編5号, 2004年5月, 306~310頁

「聖性への憧憬—イラン最大の聖地イマーム・レザー廟—」岡田恵美子監修『イランを知るための65章』明石書店, 2004年7月, 148~153頁

「シーア派国家への道—サファヴィー朝の成立と繁栄—」岡田恵美子監修『イランを知るための65章』明石書店, 2004年7月, 202~206頁

「祭礼」小杉泰・江川ひかり編『ワードマップ イスラーム』新曜社, 2006年7月, 81~86頁

「聖者廟参詣」小杉泰・江川ひかり編『ワードマップ イスラーム』新曜社, 2006年7月, 87~92頁

「シーア派イスラーム社会の「移葬」と聖地参詣」山岸智子編『シーア派諸社会の特質とネットワークを考察するための総合研究』（科学研究費補助金基盤研究（A）研究成果報告）, 2008年6月, 200~207頁

「オスマン帝国支配下のイラク（1880年代）」歴史学研究会編『世界史史料8 帝国主義と各地の抵抗I 南アジア・中東・アフリカ』岩波書店, 2009年10月, 191~192頁

「イラン国王の欧州旅行（1873年）」歴史学研究会編『世界史史料8 帝国主義と各地の抵抗I 南アジア・中東・アフリカ』岩波書店, 2009年10月, 217~218頁

「イスファハーン」, 「ナジャフ」, 「カルバラー」立川武蔵・安田喜憲監修『朝倉世界地理講座—大地と人間の物語 西アジア』朝倉書店, 2010年9月, 108~111頁, 122~123頁, 123~124頁

「神と人をつなぐ場—シーア派ムスリムの聖地巡礼—」（2010年度後期・日本イスラム協会公開講演会報告「イスラーム世界の墓参詣」）『イスラム世界』第76号, 2011年2月, 59~60頁

「シーア派イスラームの聖地巡礼」（研究フォーラム）『歴史と地理 世界史の研究』229, 2011年11月号, 山川出版社, 50~53頁

「イラン・イスラーム社会史—シーア派イスラームの聖地巡礼に関する歴史学的研究を中心に—」三島海雲記念財団『平成24年度（第49号）研究報告書』（第一回三島海雲学術賞（人文科学部門）受賞記念報告）, 2012年11月, 12~15頁

「エスファハーン」, 「ゴム」, 「マシュハド」竹内啓一総編集『世界地名大事典3 中東・アフリカ』朝倉書店, 2012年11月, 172~173頁, 393~394頁, 940~941頁

「シーア派の聖地巡礼—イラク・イランの聖墓参詣を中心に—」『2013年度四国遍路と世界の巡礼 公開講演会・公開シンポジウムプロシーディングス』愛媛大学「四国遍路と世界の巡礼」研究会編, 2014年3月, 25~32頁

「イスラーム社会の驚異（アジャイブ）集成—アジブ、ガリーブの世界—」『中央評論』（特集：驚異と好奇心）284号, 2013年7月, 49~58頁

「イランの王さま, ヨーロッパへ行く」細田典明編著『旅と交流—旅からみる世界と歴史—』北海道大学出版会, 2015年3月, 63~92頁

「ペルシア宮廷のワインとシャーベット」細田典明編著『食と文化—時空をこえた食卓から—』北海道大学出版会, 2015年3月, 65~96頁

「ペルセポリスとイスラーム世界の「七不思議」」山中由里子編『〈驚異〉の文化史—中東とヨーロッパを中心に』名古屋大学出版会, 2015年10月

【原典翻訳】

「ムハンマド・ブン・マフムード・トゥースィー著『被造物の驚異と万物の珍奇』（1）~（9）」守川知子監訳, ペルシア語百科全書研究会訳注, 『イスラーム世界研究』第2巻2号（2009年2月, 198~218頁）, 第3巻1号（2009年7月, 403~441頁）, 第3巻3号（2010年3月, 378~391頁）, 第4巻1-2号（2011年3月, 483~550頁）, 第5巻1-2号（2012年2月, 365~494頁）, 第6巻（2013年3月, 549~570頁）, 第7巻（2014年3月, 499~532頁）, 第8巻（2015年3月, 266~358頁）, 第9巻（2016年3月, 315~339頁）

『伝ウマル・ハイヤーム著 ノールーズの書 (附ペルシア語テキスト)』守川知子・稲葉穰訳注・校訂 (京都大学人文科学研究所附属東アジア人文情報学研究センター, 2011年3月), xvi+106+36頁

【口頭発表】

- “Shi’ite Pilgrimage for the ‘Atabat during the Qajar Period”, The Sixth Biennial Conference of Iranian Studies, 4 August 2006, SOAS of London University, London, United Kingdom
- “Pilgrimage of the Dead: ‘Transfer of Corpses’ to the ‘Atabat from Qajar Iran”, Sixth European Conference of Iranian Studies, 21 September 2007, Institute of Iranian Studies of the Austrian Academy of Sciences, Vienna, Austria
- “Pilgrims and Immigration Procedures at the Iran-Iraq Border in the Latter Half of the 19th Century”, The Seventh Biennial Conference of Iranian Studies, 2 August 2008, University of Toronto, Toronto, Canada
- 2009年度歴史学研究会大会・合同部会「刻まれるメッセージ, 読み解かれるメッセージ」報告「伝説から史実へーイラン・イスラーム社会における古代遺跡と歴史認識ー」, 2009年5月24日, 中央大学
- “Pilgrimage to the Iraqi ‘Atabat from Qajar Iran”, Workshop: Sunni-Shii Mausoleums and Saint Veneration in Iraq and Neighbouring Countries, 12 April 2010, University of St. Andrews, St. Andrews, United Kingdom
- “‘Ziyara’ and ‘Ziyaratgah’ in 19th Century Iran”, The Eighth Biennial Conference of Iranian Studies, 28 May 2010, DoubleTree Guest Suites Santa Monica, United States of America
- 東方学会第60回全国会員総会報告「シャー・イスマーイールとサファヴィー朝初期のシーア派信仰」, 2010年11月6日, 京都大学
- “Shah Isma’il and the Unknown Manuscript”, The Seventh European Conference of Iranian Studies, 7 September 2011, Jagiellonian University, Krakow, Poland
- “Memory Places and Funerals in the Shi’ite Society”, Colloquium: Mythes, rites et emotions: les funérailles le long de la route de la soie (Myths, Rites and Funerals: Dead along the Silk Road), 8 March 2013, Université Paris 7 Denis Diderot, Paris, France
- “Siamese Court Culture through the Eyes of an Iranian Shi’ite Muslim”, Symposium: Muslim in Thai History, 23 November 2013, Tonson Mosque, Bangkok, Thailand
- “Imam Veneration’ and Pilgrimage to their Tombs from Iran to Ottoman Iraq”, International Workshop: Shiite Saint Veneration in Comparative Studies, 11 May 2014, Esfahan University, Esfahan, Iran
- “Bisotun and Iranian Historiography of the Qajar Period”, Fourteenth Conference of International Qajar Studies Association: Literature and Writing in Qajar Iran, 31 May 2014, Otto-Friedrich University of Bamberg, Bamberg, Germany
- “Global History and a View from West Asia”, Workshop: Is Global History Truly Global: Positionality of Historians, 6 December 2014, Humboldt University Berlin, Berlin, Germany
- “The Safavid Embassy and the Siamese Royal Court”, Eighth European Conference of Iranian Studies, 17 September 2015, The State Hermitage Museum, Saint Petersburg, Russia

### 3. 主な社会活動

(1) 非常勤講師

京都学園大学 (2003年度~2005年度)  
追手門学院大学 (2003年度~2005年度)  
京都橘女子大学 (2004年度)  
九州大学 (2014年度)

(2) 学会活動

東方学会, 内陸アジア史学会, 日本オリエント学会, 日本中東学会, 史学研究会, 西南アジア研究会, 東洋史研究会, 北大史学会, 北海道大学東洋史談話会, International Society for Iranian Studies